

中小機構の支援施策のご紹介

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
関東本部
2025年3月

中小機構の概要

沿革

- 中小企業総合事業団、地域振興整備公団、産業基盤整備基金が統合し、平成16年7月に中小企業政策の総合的な実施機関として設立。
- 3機関統合による中小企業支援ツールの拡充・多様化が実現し、統合成果としてこれらを活かした総合的な支援能力の向上が図られた。



中小機構の支援体制

所在地：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

根拠法：独立行政法人中小企業基盤整備機構法

設立：平成16年7月（中小企業総合事業団、地域振興整備公団、産業基盤整備基金の三法人が統合）

基本理念：中小機構は、中小企業や地域社会の皆様により多彩なサービスを提供することを通じ、豊かでうるおいのある日本を作るために、貢献致します。

主要拠点：本部（東京）地域本部（9ヶ所）
中小企業大学校（9校）

全国に広がるネットワーク



資本金：1兆2202億4072万2650円（2024年5月14日現在）

役職員：役員13名 職員813名（2024年4月1日現在）

主務大臣：経済産業大臣及び
財務大臣（産業基盤整備業務について共管）

関係機関と連携してサポート。



関東本部の所管エリア・地域

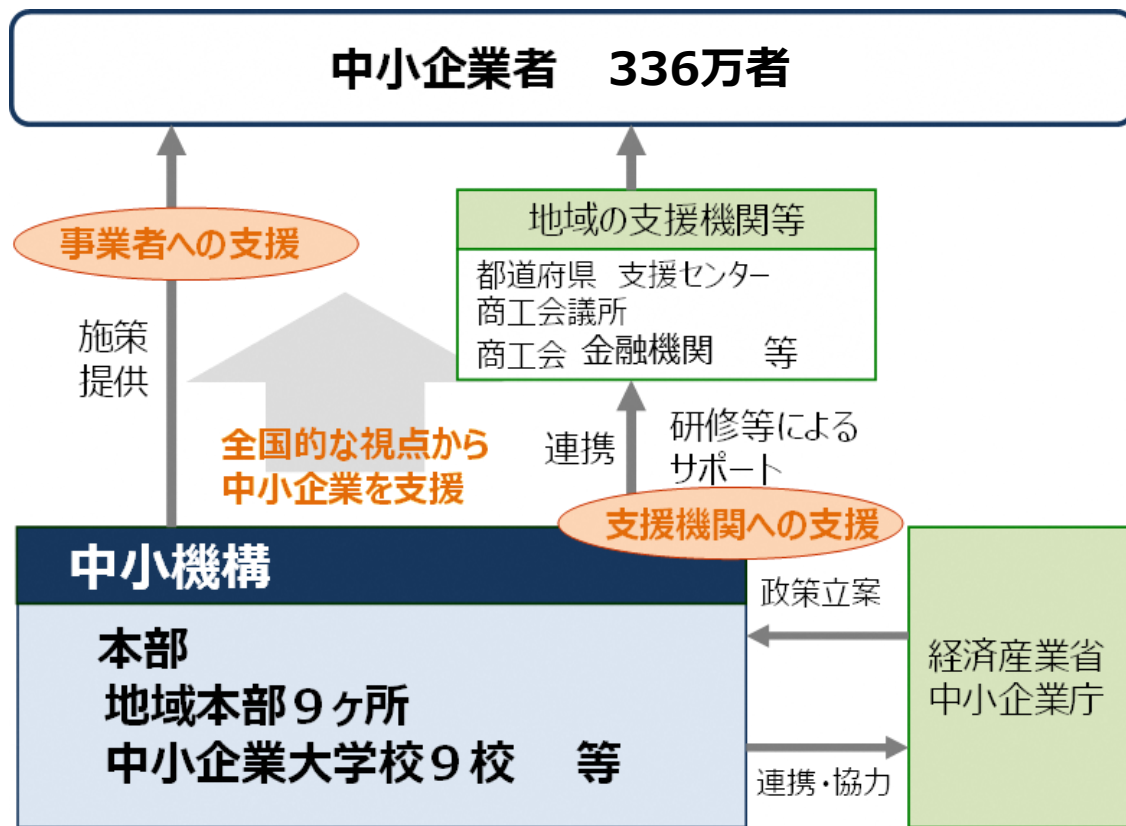


- 東京都
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 神奈川県
- 山梨県
- 長野県
- 新潟県

中小機構の特色

『国の中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関』

- 創業から企業の成長・発展、事業再生までを総合的に支援
- 全国ネットワークを活かして高度・広域な支援を推進
- 支援ノウハウを活かして、地域の支援機関の支援機能の向上を支援
- 地域の支援機関、大学、金融機関等と連携して中小企業を複合的に支援
- 全国約3000名の専門家や中小企業支援に精通した職員等の人的資源を活用



ハンズオン支援、経営相談

ハンズオン支援事業（総合・特定・IT・テストマーケティング）
生産工程スマート化診断、IT経営サポートセンター
経営相談、カーボンニュートラル相談

ハンズオン支援（専門家派遣による伴走支援）

企業の皆さまの抱える課題や取り組みに合わせて、最適な支援をご提案しています。

ハンズオン支援事業（総合）

（旧：専門家継続派遣事業）

全社的な事業戦略の実行や、売上拡大・生産性向上等に向けた長期的課題の解決に取り組む社内プロジェクトに専門家を派遣し、更なる成長・発展の土台作りを支援

《標準支援期間・回数》

10ヶ月 20回程度…総合課題への対応

※複数期にわたる支援も可能

《企業負担費用》

派遣アドバイザー1人につき、1回（1日）あたり17,500円（税込）

ハンズオン支援事業（IT）

（旧：戦略的CIO育成支援事業）

ITシステム導入・再構築に取り組む社内プロジェクトに専門家を派遣し、プロジェクト推進を通して業務と情報化に精通する人材を育成

《標準支援期間・回数》

短期 4ヶ月 8回程度…情報化推進構想策定など

長期 10ヶ月 20回程度…パッケージシステム導入準備、導入・修正対応、ITツール導入による業務プロセス改善など

《企業負担費用》

派遣アドバイザー1人につき、1回（1日）あたり17,500円（税込）

ハンズオン支援事業（特定）

（旧：経営実務支援事業）

企業が抱える特定の課題解決や改善活動など、短期・集中的に取り組む社内プロジェクトに専門家を派遣し、経営力強化を支援

《標準支援期間・回数》

短期 5ヶ月 10回程度…特定課題への対応

※複数期にわたる支援も可能

《企業負担費用》

派遣アドバイザー1人につき、1回（1日）あたり17,500円（税込）

ハンズオン支援事業（テストマーケティング）

（旧：販路開拓コーディネート事業）

新市場・新分野への進出に向けた「テストマーケティング」に専門家を派遣し、販路開拓力の強化を支援

《標準支援期間・回数》

事前ブラッシュアップ支援（M-A） 4ヶ月 8日以内

テストマーケティング支援（M-B） 5ヶ月 15回以内 ※同行回数

フォローアップ支援（M-C） 5ヶ月 10日以内

《企業負担費用》

M-A、M-C 派遣アドバイザー1人につき、1日あたり17,500円（税込）

M-B 派遣アドバイザー1人につき、1回あたり 5,300円（税込）

ハンズオン支援の特徴と得意なこと

特徴1 「支援計画に基づく長期の支援」

- ・ 事前調査により課題を掘り下げ、目標・行程・体制をまとめた「支援計画」を提案。納得を得てから実施に進みます。
- ・ 支援計画に基づき進捗を管理し、期毎に達成度を確認します。
- ・ 計画的な進め方で社内モデルの構築・横展開を促します。

特徴2 : 「自立的成長に向けたプロセス型支援」

- ・ 社内プロジェクトによる主体的な活動に対し、月2回の支援で専門家のノウハウを移転します。
- ・ 課題に対し、メンバーが現状分析を行い、解決方法を考えて実行します。専門家は分析・解決の考え方や進め方のノウハウを提供し、議論を促すことでサポートします。

	プロセス型の支援	リソース型の支援
進め方	“やり方”を教える（企業が 行う現状分析や課題解決 を支援者がサポート） ※企業が主体	現状を分析し解決策を提 示（企業は示された施策を 実行する） ※企業は受身的
メリット	・人材の成長、スキル蓄積 ・PDCAの定着	・社内人材を要さない ・即効性あり
デメリット	・課題解決に時間がかかる ・メンバーへの負担が重い	・支援者が離れると、 企業は元の状態に戻りがち

特徴3 「着実に成果を出すチーム支援」

- ・ 多彩な登録専門家から支援計画にマッチする専門家を選定し、支援チームを組成します。
- ・ 支援チームでは、管理者アドバイザーと派遣アドバイザーがペアを組むほか、シニアアドバイザーや職員を加えた複数の目でプロセスマネジメントを行います。

ハンズオン支援の得意なこと

1. 経営手法を落とし込む

戦略・計画を策定しPDCAを回す
トヨタ式改善や標準化を定着させる
新分野進出を着実に前進させる など

2. 後継者や経営幹部を育てる

企業が主体となるプロジェクト
社内横断チームの組成
発表機会→「発表の場は、成長の場」

逆に、このような場合の支援は得意ではない

1. 計画的な支援が向かない場合

財務不安が強く「将来」より「足元」が大切な時期
臨機応変さが必要なスタートアップの初期

2. 社内に「受け皿」がない場合

人数が少なすぎる、現場が多忙すぎる
パート・アルバイトがほとんどで社員がいない

ハンズオン支援におけるプロジェクト活動体制

中小機構の支援チーム



企業の社内プロジェクトチーム



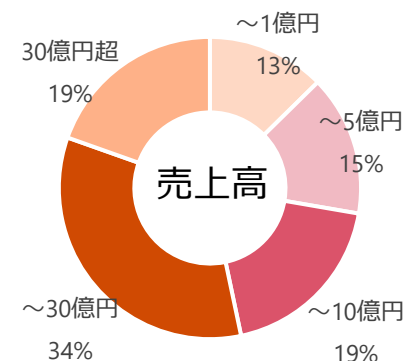
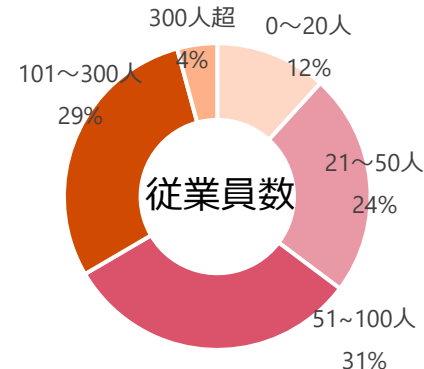
プロジェクト組成
・進捗管理

アドバイス（支援）
課題解決の方向性・推進手法
(アドバイザーのノウハウ移転)

・ 企業の社内プロジェクトチームに対し、中小機構は職員と複数の専門家による支援チームを組成し、経営課題を深掘りして重要性の高い長期的な課題に取り組みます。

・ 支援チームメンバーが役割遂行しながら、プロジェクトの進捗管理・成果評価・派遣終了後のフォローを行うことで、着実に成果を生み出す支援を行います。

■活用企業（専門家継続派遣事業2022年度）



生産工程スマート化診断

-ロボット（自動化）・IoTの活用可能性をご提案-

1. 概要

専門家が訪問し、ロボット（自動化）・IoT・デジタル技術の導入を提案する全3回の無料支援です。

- ・「作業」と「情報」の視点から、生産工程の現状を把握・分析します。
- ・課題の整理・可視化を行うとともに、ロボット（自動化）やIoTの活用可能性をご提案します。

対象

- ・ハンズオン支援を通じ生産性の向上を図りたい中小企業
- ・ロボット・IoTの導入により、生産性を向上させたい中小企業

メリット

- ・専門的・客観的視点による分析を通して、生産工程の課題の把握や対応策の検討が可能となります。
- ・ロボットやIoTなど新たな設備やサービスの活用可能性を確認できます。

2. 支援の流れ等

【1回目、2回目】 現状の課題、将来のありたい姿等のヒアリング、工場見学を行い、今後のロボット（自動化）・IoTの活用に向けた課題を整理

中小機構支援チーム



ヒアリング/工場見学
/ディスカッション

企業担当者



【3回目】 業務フロー見直し、
仕組みづくり等のご提案

【診断後】 作業改善、工程改善等による生産性向上
将来的にはロボット導入・IoT化へ

ご提案



導入に向けた
取組実施へ



IT経営サポートセンター

- I T 経営サポートセンターでは、実務経験豊富な I T の専門家が、事業者の状況に応じた課題の整理や実践的なアドバイス・情報提供などを行います。
- 企業の I T 化支援を担う金融機関、商工会・商工会議所等の支援機関のサポートも行っています。



Point
01

無料・オンライン・何度でも

Point
02

もやもや型からハッキリ型まで

Point
03

支援機関による相談・同席が可能

もやもや型

I T 利活用の必要性は感じているが、自社にどのような課題があって何をどう取り組んだらよいかわからない。

色々ツールは入れているものの十分に活かせてない。Excelでの業務に限界を感じているが、何から取り組んだら良いか。

はっきり型

勤怠管理についてタイムカードを元にExcel集計しているが業務負荷が大きい。働き方改革への対応の必要性も感じており、勤怠管理システムの導入を進めたい。

販売管理システムと会計システムとのデータ連携がしたい。

支援機関によるご相談

支援先の課題に対して想定されるITツールの情報が得られ、とても参考になりました。具体的な支援内容のイメージができたため、支援先との面談もスムーズに自信を持って行えました。

同席して専門家の面談を実際に見ることで、ヒアリングを重視し課題整理をすることの大切さが理解できました。これまでは支援先からIT化の相談を受けた際に、知っているITツールを紹介するだけに留まっていたため、今後はまず課題整理から行いたいと思います。

【お申込み：オンラインの予約フォームからご入力ください】

IT 経営サポートセンター



<https://it-sodan.smrj.go.jp/>

予約カレンダー（関東本部）

※一事業所様で予約を確保できるのは1枠となります。

<< < > >> 2024年 4月 21日 - 27日

日	21	22	23	24	25	26	27
09:30~10:30	松井 和久	09:30~10:30	松井 和久	09:30~10:30	大塚 竜夫	09:30~10:30	山崎 康彦
11:00~12:00	松井 和久	11:00~12:00	松井 和久	11:00~12:00	大塚 竜夫	11:00~12:00	山崎 康彦
13:30~14:30	松井 和久	13:30~14:30	松井 和久	13:30~14:30	大塚 竜夫	13:30~14:30	山崎 康彦
15:00~16:00	松井 和久	15:00~16:00	松井 和久	15:00~16:00	大塚 竜夫	15:00~16:00	山崎 康彦

経営相談

- 経営に関するご相談に、**各分野の経験豊富な専門家**が対面、メール、電話、オンラインの中から、ご希望に応じた方法で、何回でも無料で利用できます。
- 経営アドバイスを通じ、他の支援メニューに繋げる等、経営支援事業の入口の役割も担っています。

-経営アドバイス（対面/WEB相談）-

- 中小企業診断士、弁護士、弁理士等の専門家が、経営・財務・法律・知的財産権等の相談に幅広く対応いたします。
 - ・ 開設時間：平日 午前9時～12時 午後1時～5時
 - ・ 相談時間：1回1時間程度で事前予約制
 - ※Web相談を推奨していますが、ご希望により対面も可

中小機構 関東 アドバイス

検索

より、お申し込みフォームへお進みください。

【問い合わせ先】

Tel : 03-5470-1620
中小機構 関東本部
企業支援部企業支援課



-経営アドバイス（メール相談）-

- 24時間、いつでも、どこからでもご利用いただけます。ただし、課題を掘り下げる必要がある場合は、**対面/WEBでの相談をご案内することがあります。**

中小機構 メール相談

検索

より、お申し込みフォームへお進みください。

カーボンニュートラル相談

- 中小企業・小規模事業者の方々を対象に、オンライン相談（火曜日・木曜日開催、1回1時間）にて、経験豊富な専門家がカーボンニュートラル・脱炭素化の実現に関するアドバイスをを行っています。

（例）「自社のCO2排出量を測定する方法を知りたい」
「環境配慮型の取組みをPRしたい」



北林 博人（きたばやしひろと）

・専門分野:環境経営（GX、CN、資源循環、各種CO2排出量算定）
・専門業種: 製造業など、全般
・資格: 中小企業診断士、第一種公害防止管理者

高鹿 初子（こうろくはつこ）

・専門分野:環境経営（CN、法制度、中小企業SBT認定、CO2排出量算定、CO2見える化、サプライチェーンでの排出量算定など）
・専門業種:全般
・資格:中小企業診断士、技術士（情報工学部門、総合技術監理部門）、システムアナリスト、ECO検定



- 相談するハードルが低くて助かった。対応策の全体像と「はじめの一步」を踏み出す方法が明確に理解できた。進める都度これからも課題が出てくると思うのでまた相談したい。
- 相談実施前に資料を確認して当社の特徴を踏まえた上で具体的なアドバイスを受けることができた。今後の取り組みにすぐに活かせる点がとても役立った。

カーボンニュートラル実現の第一歩をお手伝い…相談窓口の活用

- カーボンニュートラルの進め方の第一歩。自社のCO2排出量を知って自社に合った削減策を考える取組を、オンラインでの相談を複数回（想定：6～10回程度）継続して中小機構の専門家が支援します。
- CO2排出量の簡易的な算定に取組み、現状や課題の把握の進め方を理解し、削減対応を検討するための助言を行います。

支援活用例（参考イメージ）



小さな負担で着実に取組みを進める

オンラインで1回の打合せは1時間。自社のペースで少しずつ、しかし着実にカーボンニュートラルの取組みを進めることができます。

現状把握

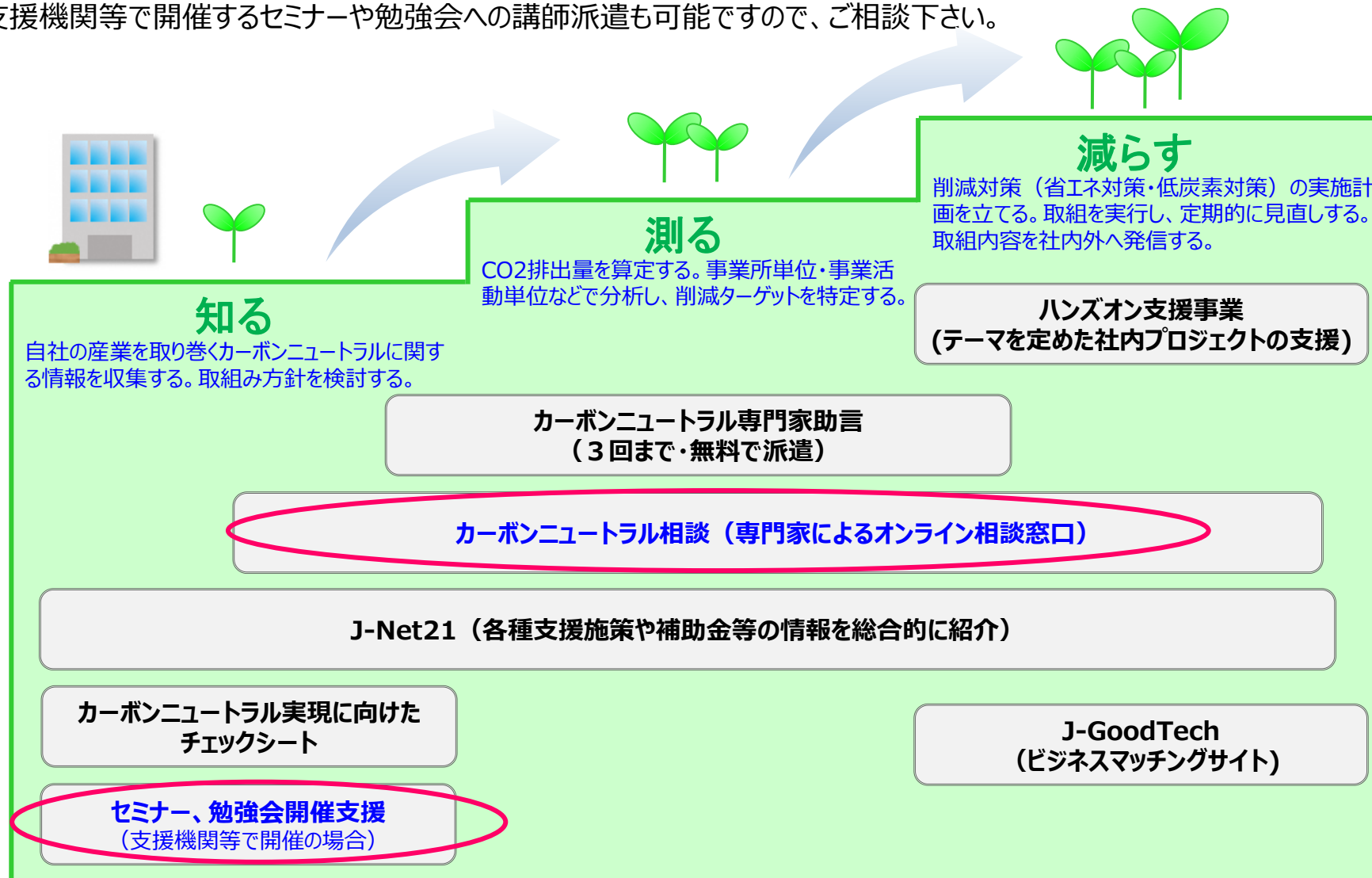
課題発見

削減対応策

	実施する主な内容（例）	（貴社）面談後の取組み
01	- カーボンニュートラル概要の説明 - 貴社事業・現状の概要ヒアリング - カーボンニュートラルに取り組むメリットデメリットの整理等	☐ 貴社でカーボンニュートラルに取り組むメリットデメリットの整理等
02	- CO2排出量算定に向けた基礎知識の説明 - 簡易診断シートを用いたCO2排出量算定方法の説明	☐ シート『①CO2排出量』の作成（自社のCO2排出量がわかります）
03	- 簡易診断シート記入状況確認、不明点Q&A - 簡易診断シートを一緒に分析 ➢ 月/年の使用量推移 ➢ Scope1,2の割合 等 - 削減目標(初版)の設定	☐ シート『③設備毎の使用量』の作成（CO2排出量が多い設備がわかります）
04	- 簡易診断シート記入状況確認、不明点Q&A - 診断シートを一緒に分析、課題の検討 ➢ 設備状況、省エネ施策等実施状況 等	☐ 設備状況、自社施策実施状況の詳細確認 ☐ シート①～③の修正
05	- 課題の検討（継続） - 削減計画の基礎の説明	☐ シート『診断シート』の作成
06	- 削減ポテンシャルの検討 - CO2削減計画 参考メニューの紹介	☐ シート『診断シート』追記
07	- 総括 - 今後の進め方（取組み、SBT認証取得等）	

中小機構 カーボンニュートラル支援施策の概要

- 中小企業がカーボンニュートラルに向けて進める取り組み段階に応じた支援を行っています。
- 支援機関等で開催するセミナーや勉強会への講師派遣も可能ですので、ご相談下さい。



海外展開支援

海外展開ハンズオン支援

海外CEO商談会

海外展開ハンズオン支援

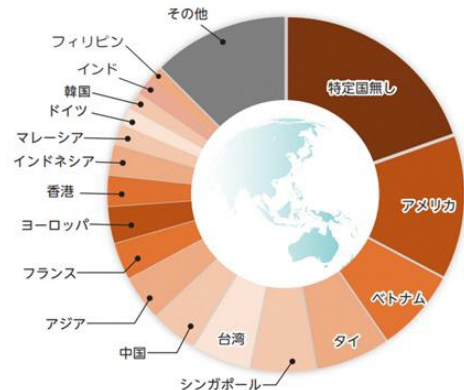
- 海外でのビジネス展開の課題やお悩みに対し、豊富な実務知識・経験・ノウハウを持つ専門家が、**無料で、何度でも**ご相談に応じます。
- 国内外に約350名の専門家が在籍、ニーズに応じた対応が可能です。
- ご相談方法は、対面・電話・メールに加えて、オンラインも対応可能です。

- 必要に応じて、専門家が伴走する「事業計画策定・現地調査同行支援」を行うことも可能です。（ご活用にあたり、所定の審査を行います）

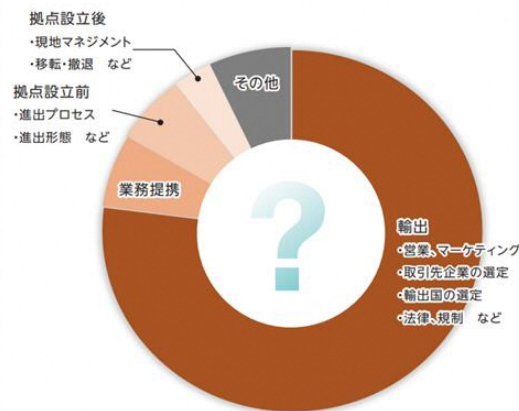
事業計画策定・現地調査同行支援 活用例



相談対象の国・地域割合（令和5年度）



相談内容（令和5年度）



「事業計画策定・現地調査支援」の利用メリット

海外事業計画策定のアドバイス

中小機構の専門家が、中小企業の海外事業計画策定へのアドバイスをを行います。

現地商談先の提案や、訪問アポイントメント取得のサポート

国内外の豊富なネットワークを活用し、現地訪問先の提案や、訪問アポイントメント取得のサポートをします。

海外現地での商談・調査に同行

中小機構の専門家が同行し、海外現地での商談・調査の支援や調査後のフォロー等を行います。

現地での車両・通訳の手配は中小機構が実施し、費用負担します（企業の往復航空券、ホテル宿泊費等は、企業負担となります）

海外CEO商談会

海外展開を目指す日本の中小企業と日本企業との連携を希望する海外企業の経営者（CEO）をマッチングする商談会を開催しています。

日本の中小企業と海外のローカルパートナー企業の“連携”に焦点を当てて、国内にしながら信頼のおける海外ローカルパートナー企業と出会う機会を提供しています。

日本国内にしながら海外企業経営者との商談が可能



海外政府機関が推薦する優良企業を招聘

<中小機構が連携している海外政府機関等>

インドネシア工業省、タイ工業省、ベトナム投資開発庁、インドネシア商工会議所、ベトナム商工会議所、シンガポール企業庁、タイ中小企業振興庁、フィリピン貿易省、マレーシア投資開発庁、インド産業連盟、台湾貿易センター等

海外CEO商談会の特徴

- 海外企業経営者（CEO等）と直接商談することでスピーディーな意思決定が可能
- 海外政府機関等から推薦を受けた海外企業が参加
- 日本企業からの購入、代理店契約・日本製品の販売、合併会社の設立、共同開発・技術連携、日本企業への生産委託等を希望する海外企業が参加
- 全商談に英語又は現地語の通訳が同席するため、日本語での商談が可能
- 海外展開の専門家が商談ノウハウをアドバイス

（昨年度の商談会の事例）

医療機器CEO商談会2023 ➡ <http://www.smrj.go.jp/sme/market/ceo/index.html>

開催日時：2024年1月29日（月曜）から2月2日（金曜）

実施方法：オンライン(Microsoft Teamsを使用)又は対面での商談

募集期間：2023年12月4日（月曜）18時

対象分野：医療機器、ヘルスケア・介護

募集対象：海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業

参加費用：オンライン商談の場合は5,500円（税込）、対面での商談の場合は6,600円（税込）

※商談がセットできた場合に参加費用が発生します

参加国・地域：インド、インドネシア、オーストラリア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、ドイツ、フィリピン、ベトナム、香港、マレーシア

販路開拓支援

J-GoodTech（ジエグテック）

地域活性化パートナー制度

eコマース（EC）活用支援、展示会

ビジネスマッチングプラットフォーム「J-GoodTech」とは

日本全国の中小企業、大手企業、海外企業をつなぐビジネスマッチングサイト
営業コストをかけずに、無料で海外企業とビジネスマッチングができます

ジェグテック

J-GoodTech

[ホーム](#)
[ジェグテックとは](#)
[企業検索](#)
[登録企業](#)
[ジャーナル](#)
[FAQ](#)
[お問合せ](#)
[JP](#)

[新規会員登録](#)
[中小企業の方](#)
[大手企業の方](#)
[支援機関の方](#)

ログイン

中小企業と世界を繋ぐ

BUSINESS MATCHING

新規会員随時募集中

ジェグテックは、日本の中小企業と国内大手企業・海外企業を繋ぐビジネスマッチングサイトです。
ジェグテックの特徴は「ジェグテックとは」をご覧ください。
ジェグテックでは会員登録される企業を随時募集中。

おすすめコンテンツ

中小企業と世界を繋ぐ
BUSINESS MATCHING

海外マッチングスクエア

Startup Matching Support
スタートアップ
マッチングスクエア

令和6年産地帯
復興・復興
マッチングサイト

ESGカード

SDGs・カーボンニュートラル展示会

京都市×J-GoodTech

Startup Matching Support
スタートアップ
マッチングスクエア

詳細・ご登録はこちらからどうぞ→



【ニーズ例】

伝統や技を受け継いで作られた日本の伝統工芸品、インテリア雑貨、小物等の調達

ニッチで高付加価値なヘルスケア商品探し

無添加、オーガニック、ヴィーガン、グルテンフリー等食材・関連商材の調達

地域活性化パートナー制度（BtoC商材ブラッシュアップ支援）

大都市圏や全国規模で活動する**小売・流通、Eコマース、クラウドファンディング、観光関連、メディア分野の事業者**（「**地域活性化パートナー企業**」と呼ぶ）が中小機構と連携して、BtoC向け商材のブラッシュアップ、商品開発・改良、販路開拓をサポートします。



＜地域活性化パートナー企画 虎ノ門オンラインアドバイス＞

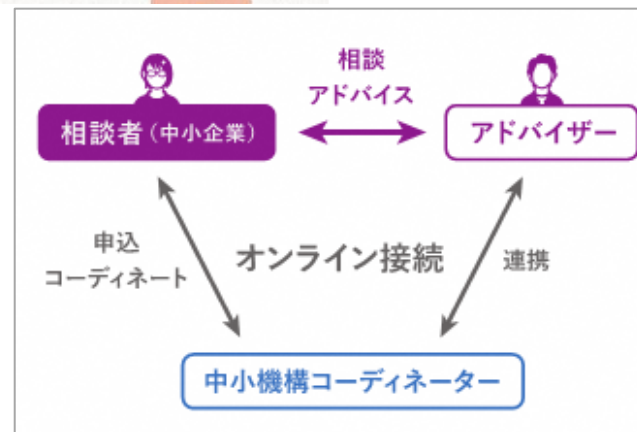
現役バイヤー等各分野のプロが商品開発、販路開拓についてワンポイントアドバイスをオンラインで実施します。

中小機構の専門家がコーディネートするので安心して参加できます。1回（1社）45分・無料。

＜地域活性化パートナー企画 マッチング企画＞

地域活性化パートナー企業の現役バイヤーに商品提案できるチャンスです。

2023年度も高島屋やスーパーマーケット小売バイヤー等、数多くの企画を実施しました。



EC活用支援

ECを活用した国内外への販路拡大や生産性向上の取組を支援しています。

● オンライン講座

国内EC、越境ECノウハウを学べる10分程度の動画を配信中



● パートナー企画

中小機構と民間ECサービス事業者による、市場開拓に挑戦する中小企業向けの企画を開催。

特典付きサービス利用や、EC専門家のアドバイス付きで、中小企業がチャレンジしやすい企画をご用意

2023年度 中小機構EC活用支援事業

～見せ方・売り方・伝え方～
EC活用チャレンジ企画
(販促・マーケティング編)

参加費 無料
事前登録制

オンライン開催

中小機構と民間ECサービス事業者による、市場開拓に挑戦する中小企業向けの企画です。参加特典や無料相談を活用して、国内外のEC販売にチャレンジしましょう!

2024/3/4 MON 15:00-17:00

申し込み締切り: 2024/3/1(金) 正午

チャレンジ企画その1 15:00-16:00

チャレンジ企画その2 16:00-17:00

こんな人におすすめ

- ・競合商品に埋没しない、自社商品を選んでもらう販路を見つけたい(見せ方)
- ・海外消費者の目に早くともる販売ツールを用意したい(売り方)
- ・メディアに取り上げられる、情報発信力をつけたい(伝え方)

※特に、サービス利用の利便が可能な経営者等にお勧め

上記に関する情報はEC活用支援ポータルサイト「ebiz」に掲載しております。

<https://ec.smrj.go.jp/>

中小企業のための
EC活用支援ポータルサイト

ebiz

展示会出展支援

- 大規模展示会の出展支援を行っています。展示会初心者向けの各種プログラムを用意しており、一般的な出展料に比べ安価に設定しています。展示会をととして販路開拓の機会を提供しています。

例) 新価値創造展 in 未来モノづくり国際EXPO 2024

- 大阪で開催される国際見本市・展示会である「未来モノづくり国際EXPO 2024」内に集合出展し、中小企業の海外販路等の開拓支援を行います。

会場：インテックス大阪

開催期間：2024年11月13日～15日

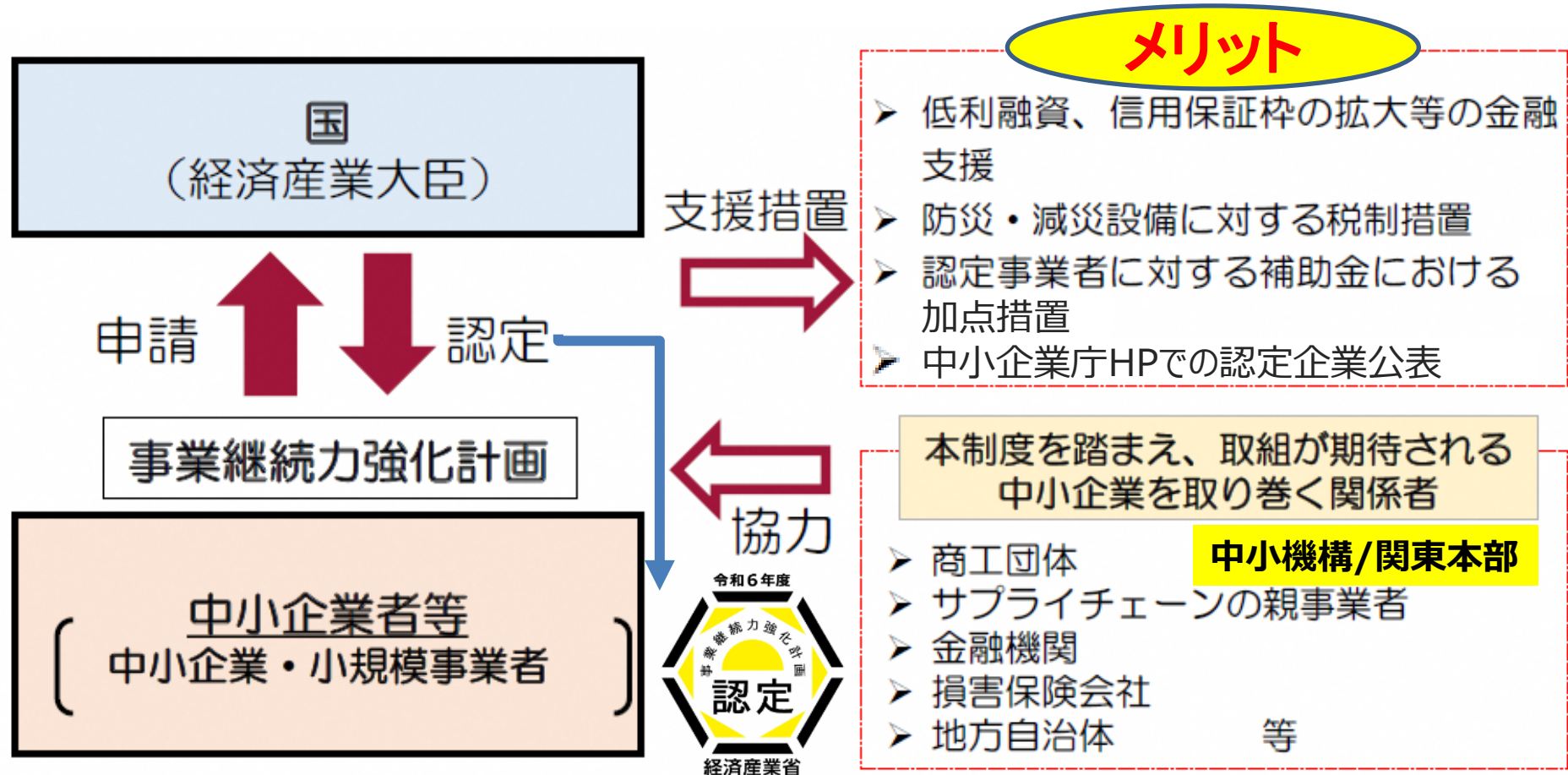


その他支援

事業継続力強化計画（簡易BCP）策定支援

事業継続力強化計画（簡易版BCP）とは？

通称：ジギョケイ



※強化計画は、「単独型」と「連携型」の2種類ある

※連携型は中小企業2社以上（子会社等含む）の連携であれば申請可能

出典：中小企業庁ホームページ 事業継続力強化計画認定制度の概要より抜粋、一部追加・修正：

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/download/keizokuryoku/tebiki_gaiyo.pdf

事業継続力強化計画（簡易版BCP）の特徴と策定支援

従来のBCPよりも
簡単
(簡易版BCP)

作成の手引きを
見て自分で書ける

※中小企業庁
「事業継続力強化計画」
<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/keizokuryoku.html>

計画は2種類
「単独型」
「連携型」

「防災・減災」に
焦点を当て、
取り組みやすい

訓練・教育や見直し
を通じて
実践的な内容にする

連携によって
さらに効果的な
対策を立てられる

◎中小機構では、**実践的・効果的な事業継続力強化計画**の策定を通じて、**経営の「強靱化」**を支援します！

◎特に「連携型」計画策定に際しては、**無料でアドバイザーを派遣（3回程度）**し、計画づくりを後押ししています。

お申込み・お問い合わせ先

以下の担当部署までお申し込み、お問い合わせください。

支援メニュー	お問い合わせ・お申し込み先	リンク
ハンズオン支援	関東本部 企業支援部 企業支援課 TEL 03-5470-1637 https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/hands-on/	
生産工程スマート化診断	関東本部 企業支援部 企業支援課 TEL 03-5470-1637 https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/smart/index.html	
IT経営サポートセンター	関東本部 企業支援部 企業支援課 TEL 03-5470-1637 https://it-sodan.smrj.go.jp/	
経営相談	関東本部 企業支援部 企業支援課 TEL 03-5470-1620 https://www.smrj.go.jp/regional_hq/kanto/sme/consulting/	
カーボンニュートラル相談	関東本部 企業支援部 企業支援課 TEL 03-5470-1620 https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/sdgs/favgos000001to2v.html	
海外展開ハンズオン支援	関東本部 企業支援部 支援推進課 TEL 03-5470-1640 https://www.smrj.go.jp/sme/overseas/consulting/advice/	
海外CEO商談会	関東本部 企業支援部 支援推進課 TEL 03-5470-1638 https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/ceotop/	
J-GoodTech	関東本部 企業支援部 支援推進課 TEL 03-5470-1638 https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/	
地域活性化パートナー制度	本部 経営支援部 企業支援課 TEL 03-5470-1524 https://www.smrj.go.jp/sme/new_business/product/	
eコマース活用支援	本部 販路支援部 販路支援企画課 TEL 03-5470-1619 https://ec.smrj.go.jp/	
事業継続力強化支援 (簡易BCP策定支援)	関東本部 企業支援部 支援推進課 TEL 03-5470-1606 https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/kyoujinnka/	



Be a Great Small.

中小機構